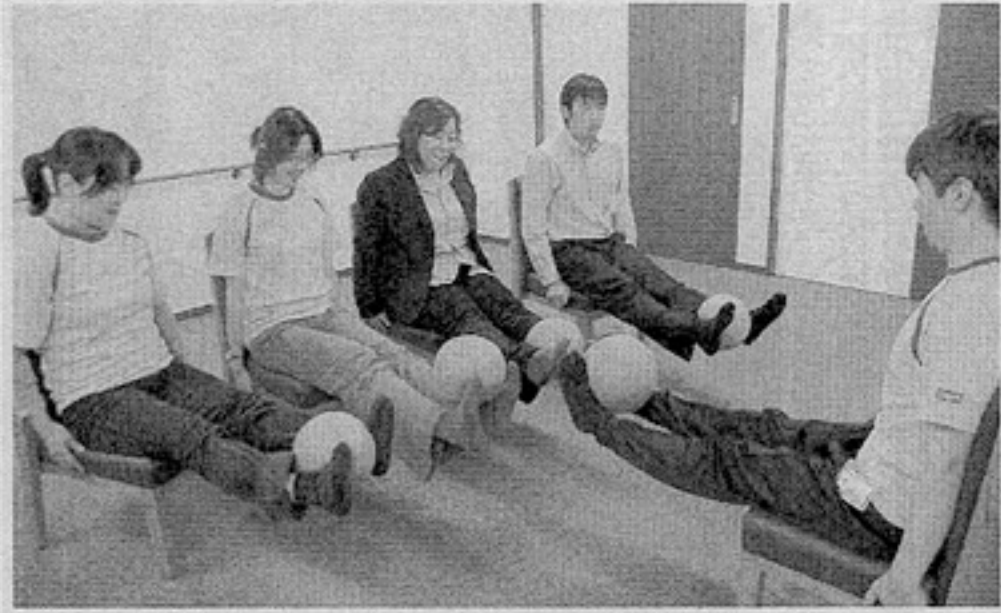


nagomi 奈良三条店

珍しいリハビリ専門デイサービス

モデルケースとして注目

来月1日 3時間のプログラムのオープン



開店に向け、いすエクササイズの講習を行うスタッフ＝奈良市三条大路2丁目の「nagomi 奈良三条店」

利用者は、機能の改善目標や計画を設定した上で、理学療法士らが開発した約三時間のリハビリプログラムに、講師の指導を受けながら取り組む。ボールなどを除くトレーニング機材はほぼ不使用。通所頻度は週一、二回。十一月中はケアマネジャー向けの内覧会を実施している。

三時間のプログラムは、①バイタル(血圧、脈拍、体温)チェック②ヨガ体操③休憩・個別トレーニング④いすを使用したエクササイズ⑤休憩⑥自宅でできる運動メニュー指導という流れ。

メインは体をほぐす一時間のヨガ体操と、いすの上で音楽に乗せて行うエクササイズ。下肢から上半身まで全身の身体機能維持、改善が見込める。

ヨガ・いすエクササイズで身体機能の維持・改善

月一回体力測定があり、身体機能改善度が前月と比較できる。送迎付きだが、風呂や食事サービスは付随しない。生活相談員や看護師、介護スタッフが常駐している。

プログラムの実施時間は月曜から金曜の午前と午後の二部で全十回。定員は各回最高十五人で週一、二回まで参加できる。利用条件は介護保険適用者で自立歩行が可能であること。送迎可能地域は片道三十分圏内。体験希望者は、ケアマネジャーを通じての連絡が必要となる。

利用料金の自己負担事例は「要支援1」三千二百六十六円(二カ月)▽「要支援2」四千四百三十三円(同)▽「要介護1」四百四十五円(一回)▽「要介護2」五百十三円(同)。

中井紀・奈良三条施設長は「nagomiを利用して、歩行に杖(つえ)が不要になったケースを聞いている。継続的に利用して介護度の維持改善につなげてほしい」と話している。

同店は、イー・ライフ・グループ(東京都豊島区)が、全国展開しているリハビリデイサービス「nagomi」のフラッグシップ店、関西第二号。問い合わせは「nagomi 奈良三条店」、電話0742(30)3032。

桜井市産業まつり



えりすぐりの作物が並んだ農林産物品評会＝28日、桜井市芝の市民体育館

コメなど440点を審査 あすまで特産品即売

桜井市の農林産物や地場産品を集めた「市産業まつり」(市主催)が二十八日、桜井市芝の市民体育館で始まった。時間は午前十時から午後三時、三十日は午後二時まで。入場無料。三十日まで。

初日は品評会が行われ、市内の農家二百四十軒から出品されたコメやハクサイ、ミカンなど約四百四十点を県や農協の職員らが審査、各賞を決めた。

審査した県中部農林振興事務所の前川達也さん(仮名)は「今年は夏から秋に雨が多かったため、そのときに発芽した作物の収穫量が少ない。しかし、その中でも

ダイコンやミカン、サトイモ、鉢花などで優秀な作物が出品されている」と話した。

12月の税務・年金無料相談

奈良信用金庫は、十二月の「税務・年金無料相談」を、

「イビス」の日程を発表した。要予約。

【税務相談】18日午後1時～同5時(天理支店)小川院司・税理士・公認会計士

一部除き減速局面へ

南都経済センター(奥村隆司理事長)は二十八日まで、十一月末における県内景況をまとめた。それによると、個人消費、公共投資、雇用情勢、企業倒産はいずれも悪化が続いており、同センターは景況について「一部を除いて減速局面に入っている」と分析している。

各指標を見ると、個人消費のうち九月の大型小売店販売額(速報)は物価高などから消費意識の低下が響き、全店ベースで百九十三億千七百円と前年同月比2.2%減少し、七月月連続で減少している。また十月の乗用車販売台数は三千三百八十八台で、前年同月比4.0%減の三月月連続で減少となった。一方、九月の新設住宅着工戸数は、前年同月比11.9.8%増と大幅に増加して九百四十三戸。持ち家、貸し家、分譲住宅ともに増加している。

十月の県の公共事業等施行契約額は前年同月比11.6%減少し、四十一億七千七百円と三月月連続で減少。西日本建設業保証取り扱ひの十月の公共工事請負金額は全体で前年同月比2.7%増の九十九億三千三百円だった。

九月の有効求人倍率(季節調整値)は前年同月比〇.〇九低下して〇.七三倍、新規増の七百二十六人、一般新規求人数で従業員九十九人以下が占める割合は80.6%で前月よりも19.2%低下した。事業規模別の新規求人数は次の通り。

29人以下 3425人(前年同月比1.7%減)▽30～99人 11655人(10.2%増)▽100～299人 9982人(18.3%増)▽300～499人 1140人(33.6%減)▽500～999人 65人((38.7%減)▽1000人以上 30人(58.9%減)

有効求人倍率0.73倍 近畿では最下位に

10月雇用状況

奈良労働局(名須川信雄局長)は二十八日、十月の県内雇用状況をまとめた。有効求人倍率(季節調整値)は〇.七三倍で前月より〇.〇二低下した。近畿二府四県の平均は〇.八三倍で、県は最下位だった。全国平均は前月比〇.〇四低下し、

〇.八〇倍になった。有効求人数は前年同月比7.4%減少し、二十五万五千五百人。有効求職者は七万三千五百人。有効求職者数は1.5%増の二万二千五百人となった。

新規求人数は1.4%増の十八万三千七百七十七人。うちマイナスは食料品

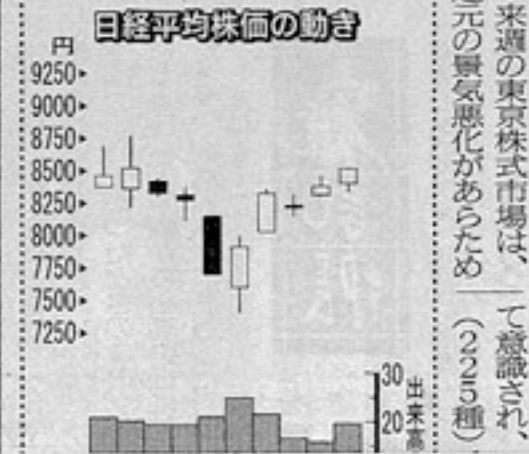
製造業20.2%減の百四十六人、印刷・関連連業26.3%減の二十八人、一般機械器具製造業55.1%減の三千五百人。プラスは織・縫工業82.9%増の六十四人、衣服・その他の繊維製製品製造業17.7%増の百十三人、木材・木製品製造業36.0%増の三十四人。非製造業で増加したのは、情報サービス業70.0%増の三十四人、医療・福祉20.9%増の千七百九十九人、複合サービス業66.6.7%増の二百九十九人など。

反対に減少したのは、卸売り・小売業9.8%減の七百七十八人、運輸業4.2%減の三百三十八人、金融・保険業47.2%減の五十七人、不動産業12.9%減の六十一人などだった。

雇用保険資格決定件数は3.5%減の千九百二十件で、受給者実人員は0.9%増の六千七百八十一人。就職者数は2.4%増の千九百七十四人で、うち一般が1.8%減の千二百四十八人、パートが10.7%

景気悪化で指標落

株式週間展



東証終値138円高

二十八日の東京株式市場は、模様眺め気分が強い中で、値上り感のある銘柄が買いを集め、日経平均株価は二二五種、八五二二の八五二二に回復した。営業日ぶりに全銘柄の値証株価指数(TOPIX)も五・七九ポイント高の八二二二・八二二二に回復した。前日の米株の暴落も影響を及ぼした。主力は、

【年金相談】18日午前9時～午後5時(学園前支店)北瀬秀晴・社会保険労務士 問い合わせは、同金庫支店部、電話0743(54)3117。

情報レター

ソニーは、11月20日に北海道産の心地向い音を望小売価格は通常の2台設ルクチョコ、希望小売

おしるこ味のキットカット

ネスレ

ネスレコンフェクショナリー(神戸市)は、「キットカット おしるこ味」を12月15日までの期間限定で発売した。小豆の老舗メーカー井村屋製菓が監修。こしあんパウダーが入ったクリームをウエハースで挟み、おしるこ味のミ

